

みちのく森の楽校だより

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



ヤマジノホトギス



フシグロセンノウ

2019年 **8月号**

8月24日(土)曇り、あまり暑くありません。

竹細工いろいろ！

夏の終わりです。暑さも盛りを過ぎたようです。蝉の声も変わってきました。今日の活動は竹細工。里山の竹を使って、いろいろな工作をしました。竹は加工しやすいので、いろいろ工夫ができます。

竹を切りました！

今日の活動の材料は竹。西の土場の奥にある竹林で竹を切りました。枝を払ったら、みんなでかついで、森の楽校へ運びました。



水鉄砲作り

竹を切って、水鉄砲を作ったら、早速、水遊びの始まりです。的は、障子紙の的と木の的。誰が気の的を倒すか、競争です。



飯盒炊飯

家族ごとに飯盒を1つ、お米は人数分。小野分校で、お米をとぎました。森の楽校で、かまどを使って飯盒炊飯をしました。大鍋に作ったカレーが御馳走です。



竹笛作り

竹笛作りをしました。竹が太いとカッコウ笛、細いとウグイス笛になります。それぞれの太さの竹で笛を作り、きれいな音色を出していました。作った笛で童謡「ふるさと」を吹いた会員さんもありましたよ。

